

小笠原中学校

学校だより

第11号
3月

平成30年3月1日(木)

小笠原村立小笠原中学校

校長 新妻 茂

<http://www.ogachu.que.ne.jp/>

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>

あれから7年

校長 新妻 茂

平成23年(2011年)3月11日14時46分。あれから7年が経とうとしています。

福島県だけで今も避難生活をしている人が7万人近くいます。原発の廃炉に向けた作業も遅々としています。それでも被災地の復興は徐々に進んでいます。福島県浜通りでは、2月6日に「福島ロボットテストフィールド」の起工式が行われたり、一時期原発事故の最前線基地であった檜葉、広野両町にまたがるJヴィレッジがこの7月に再開するとか、3月10日には東北中央自動車道「相馬福島道路」のうち相馬玉野ICと伊達市の霊山IC間17kmが開通する等、地域の再生や人の流れを作り出す基盤ができています。

一方では福島第一原発事故がもたらしたさまざまな差別や分断という問題も依然として残っています。それらをどうやって乗り越えていったらいいのかということテーマにした「しあわせになるための『福島差別』論」という本が出版されました。ドイツ文学翻訳家の池田香代子さん、福島大学名誉教授の清水修二さん、立命館大学准教授の開沼博さんら幅広い分野の専門家14人が執筆しています。科学的な議論を通じてお互いの意見を尊重することの重要性を訴えています。依然としてなくなる風評被害、差別、偏見にどう立ち向かっていかなければならないか、改めて考えてみるのが大切です。

この本の中では、原発事故がもたらした被害の全体像や現状が整理されていて、放射線や放射能の知識、甲状腺がん検査の問題点等も解説されています。それとともに放射線教育の重要性も強調されています。「福島で生まれ育った若い方々が、いわれのない偏見・差別を受けないようにするためにも、放射線とその影響に関し、科学的な理解を育む教育に、わが国はもっと力を入れねばなりません」と書かれています。私も過去何度か「学校だより」に福島県民に対する偏見・差別について書いたことがあります。同感です。原発事故後も誇りをもって福島県内外で活躍している若い人たちがたくさんいます。その人たちを支援し、次世代につなげていくためにも放射線教育を充実させていく必要があります。

現在、福島県で生産されている米は放射線の全袋検査が行われています。この間、放射線について国が設定した基準を超えて出荷されたものは一袋もありません。また、その他の農産物、海産物も同様です。先日、この本の出版を記念したシンポジウムが都内で開かれたそうです。パネリストからは福島県の食の安全性等の現状を広くアピールし、多くの人に正しい情報を届けることの重要性を訴える意見が相次いだそうです。福島の実情を知ることは自分のためになるのです。小笠原と福島県は遠いように感じますが、小笠原から北へまっすぐたどっていくと福島県の沿岸部にぶつかります。海でつながっているのです。

この本の中では、「それぞれの判断と選択をお互いに尊重すること」、「科学的な議論の土俵を共有すること」が必要であると訴えています。福島について明らかに誤った認識も依然として残っています。差別や偏見を完全になくするのは難しいかもしれませんが、少なくすることはできます。小笠原の中学生や村民の皆様におかれましては、ぜひ福島「正しい情報」を学んでいただきたいとお願いいたします。

3月の主な行事

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1日(木) 都立高等学校合格発表 | 15日(木) 1年働く人の話を聞く会 |
| 2日(金) 3年ゲートボール交流会 | 16日(金) 保護者会 1年働く人の話を聞く会 |
| 7日(水) 3年卒業遠足(小港海岸) 芝生の日 | 20日(火) 卒業式 |
| 9日(金) 3年海洋調査 | 21日(水) 春分の日 |
| 12日(月) 卒業式予行 | 22日(木) 郷土講座 |
| 13日(火) 食育 三年生を送る会 | 23日(金) 修了式・離任式 |
| 14日(水) 1年消費者教室 3年高等学校特別授業 | |

1年間を振り返って

第1学年担任

入学してから早1年がたとうとしています。入学式の小学生の面影を残した姿もすっかり中学生らしくなってきました。様々な変化に前向きに取り組んできた1年間だったと思います。クラス目標は『何事にもチャレンジするクラス』と決め、それぞれが学習や行事、部活動などいろいろな場面でチャレンジする姿を見ることができました。この1年間で経験したことをいかして、2学年でも前向きに学校生活に取り組んでいって素敵な先輩になって欲しいと思います。年間を通じて教育活動にご理解、ご協力いただいた地域、保護者の皆様に感謝いたします。

第2学年担任

2年生の後期は、生徒会や委員会、部活動などで中心的な役割を担っていきます。クラスの生徒たちは、会長として、委員長として、キャプテンとしてはもちろん、小笠原中学校の生徒として「学校を良くしていきたい」と考えるようになりました。「学校を良くするために、まずクラスから」を確認し、学級目標の『Voice』を大切に、授業中の発言、クラスでの声かけなどを意識してきました。2年生の生徒たちは、何事も明るく前向きに、協力して取り組むことができますが、課題は継続することだと思っています。中学校生活も、残すところ約1年。それぞれが、自分の活躍するステージで最後までやりきってくれることを期待しています。

最後になりましたが、保護者、地域の皆様、今年度も生徒たちを温かく見守り、支えてくださり、ありがとうございました。

第3学年担任

1学期は修学旅行で仲間との絆を強めることができました。いつもとは違う環境で集団生活をする中で学ぶことは多くあったと思います。また、運動会では生き生きとしたダンス姿を披露できたことは、とても良い思い出になったと思います。

残念なのは、「受験生」という雰囲気はほぼ感じたことがなかったことです。もっともっと勉強して欲しかった！と本当に思います。

もうすぐ中学校を卒業します。義務教育は終了です。自覚をもち、今後も活躍してくれることを期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。この場をかりてお礼申し上げます。

道徳授業地区公開講座

道徳担当

昨年度、テーマを設定して行った意見交換会では、各グループで活発な様子が見られました。そこで、今年度も同じ形式で行い、様々な立場から「子供たちの豊かな心を育むために、家庭、地域とどういった連携ができるか」について、意見を出し合っていました。連携という観点から、【ゲストティーチャーの活用】という意見が多く聞かれました。実際に地域の方に、様々な場面でご指導やご意見をいただく場面があります。道徳では、多くの意見に触れる、共感する、といったことが大切になってきます。内容項目を見ても、【勤労】【郷土の伝統と文化の尊重】【自然愛護】などは、資料を活用するだけではなく、専門の方に来ていただいて、貴重なお話を聞く機会を設けることで、生徒の心に残るものも変わってくるのではないかと感じます。

ご来校いただいた皆様、ありがとうございました。

天文台 出前授業

理科担当

1月18日(木)に、自然科学研究機構国立天文台の先生が3年生に宇宙についての講義をしてくださいました。

生徒が興味を持ちそうな海に関する星座の話から始まり、宇宙に関しての様々なこととお話ししてくださいました。地球に似た惑星はあるのか、惑星ができる材料は何なのか、天の川の星の数など、聞いていてワクワクすることばかりでした。

現在、次世代超大型望遠鏡 TMT をつくっているということです。この望遠鏡は口径 30m の主鏡をもつもので、これまでの 8m 級の望遠鏡と比べ、解像度は約 4 倍、光を集める能力は 10 倍以上にもなるのです。この主鏡は 492 枚の鏡を合わせることで形づくりします。1 枚の鏡は対角が 1.44m の六角形状でわずかず形状の異なる 82 種

類の非球面鏡を6枚ずつ使って主鏡を構成します。国際協力のなか、日本は望遠鏡本体構造と主鏡の製作、および観測装置の一部の製作を分担します。これは日本の技術が高いと世界から認められているということです。この大型望遠鏡ができることで、さらに宇宙のことが解明できるのかと思うと今から楽しみです。

学校公開

教務主任

1月31日（水）から2月3日（土）まで、今年度3回目の学校公開を行いました。保護者の方のべ39名、地域の方のべ17名の皆様にご来校いただき、授業の様子をご覧いただきました。また、期間中は作品展示も行い、書き初めや、美術、技術・家庭科、総合的な学習の時間の作品などを展示しました。ご来校いただいた皆様は、一つ一つの作品をていねいにご覧下さり、生徒への励ましのメッセージを残して下さいました。

来年度も学校公開を予定しております。生徒たちの日ごろの学習の様子をご覧いただき、励ましのことばをかけていただきますよう、お願いいたします。



新入生説明会

教務主任

2月5日（月）に来年度中学校に入学する小学校6年生を対象に、新入生説明会を行いました。

まずは、小学校とは5分長くなる中学校の授業を体験してもらいました。今年は音楽の授業でした。内容は、ブラームスのハンガリー舞曲第5番の鑑賞です。ただ曲を聴くだけでなく、曲についてグループで話し合い、曲の良さを具体的にことばで説明するように頑張っていました。

続いて、実際に中学生が受けている授業を見学してもらいました。1年生の理科、2年生の英語、3年生の国語の授業でした。見学が終わった後は、みんなで感想を言いました。「授業のペースが速かった。」「3年生がやっていた漢字のプリントが難しかった。」「先生があまりしゃべらず、自分で考える授業が多かった。」など、小学校と中学校の授業の違いを感じた発言が見られました。その後、説明会で校長からの話、中学校での生活についての話を聞いて、全体の会は終了しました。

最後に、部活動体験・見学をしてもらいました。自分の選んだ部活動で、生き生きと活動している様子が見られました。

2か月後、素敵な中学生になってほしいと思います。どんな3年間を送ってくれるのか、今から楽しみです。

お知らせ

- 母島小中学校の学習発表会に作品を出展したところ、母島中学校の生徒さんから感想をいただきましたので一部紹介します。
 - ・切り絵「小笠原と私」では、漢字を探すのが難しかったけど、見つけたときの達成感があってよかったです。1つ1つきれいなグラデーションでとてもきれいでした。
 - ・「正反対」の絵がすごく分かりやすくておもしろいと思いました。また、Tシャツのデザインが全部斬新でいいと思いました。
 - ・みんなが作った作品が実物を見てもメニューを見ても全部リアルで本物のようでした。メニューとか作品を見ているとレストランとか食べ物屋さんにいる気分になりました。
 - ・みなさんの展示物どれもすごく細かい作品ばかりで見入ってしまいます。僕が一番好きなのは「チョコレートケーキ」です。さくらんぼがとてもリアルで本物かと思ったほどです。形や色つやもていねいに作られています。すごいいいと思いました。
- 小笠原中学校の生徒の取り組みをご紹介します。
 - ・平成29年度「防災ノート活用促進月間」における「防災標語コンクール」
※小笠原中学校、小笠原小学校の昇降口、村役場にのぼりにて展示されています。
 - ・平成29年度検定合格者（2月23日現在）
今年度の漢字検定、数学検定、英語検定、ニュース検定の合格者を紹介します。

平成 30 年度主な行事予定

| | | |
|-------------------|-------------------|---------------------|
| 4月 4日 出迎え式 | 9月 3日 2学期始業式 | 1月 8日 3学期始業式 |
| 4月 6日 1学期始業式 | 9月30日 連合運動会 | 2月 2日 道徳授業地区公開講座 |
| 4月 9日 入学式 | 10月12日 中間考査 | 2月25日 学年末考査～27日 |
| 5月17日 3年修学旅行～26日 | 11月11日 学習発表会 | 3月20日 卒業式 |
| 6月 5日 1年母島移動教室～7日 | 11月17日 開校50周年記念式典 | 3月25日 修了式・離任式 |
| 6月20日 期末考査～22日 | 11月26日 期末考査～28日 | ※2年硫黄島訪島事業日程は未定です。 |
| 7月14日 遠泳大会 | 12月 3日 2年職場体験～5日 | ※今後変更もあります。ご了承ください。 |
| 7月18日 1学期終業式 | 12月25日 2学期終業式 | |

保護者・地域皆様へ

平成29年度も最後の月となり、いよいよ3年生・17名を送り出すこととなりました。

私たちの小笠原中学校は、毎日の生活に加え、6月のブイ・フロート設置等、様々な面で保護者の皆様、地域の方々に支えられてきました。皆様のお力添えに改めて感謝申し上げます。

来る平成30年度、小笠原村返還と同日に開校した本校は50周年を迎えます。これからも教職員一同力を合わせて教育活動を行っていく所存です。今後とも、ご理解とご協力をお願い申し上げます。